

コンクリートのマンションよりも山に囲まれ、自然も人の心も豊かで温かい村がいい。

大澤 麻奈美さん（坂本）



それでもやっぱり村で子育てをしたい！

現在、坂本で3人のお子さんを育てている大澤麻奈美さん。長女の保育園の入園を機に東秩父村にやってきたそうです。中学生2人と小学生1人の子育ては、子どもが遊ぶ場所がない、子どもの数が多いなどの不安や地理的な不便さを感じる部分もあると言います。しかし、それを超える魅力や環境が村にあると教えてくれました。

▼まだ子どもが小さなころに子育て支援センターを利用したことで、子どもたちだけでなく私自身にもママ友ができました。ママ友とは同じ親として子どものことや悩みなども相談できて、東秩父ならではのことも共感し合えるんです。困っていればすぐに手を差し伸べてくれる優しい人ばかりで、ママ友たちに出会えて本当に良かったです。

また、子どもたちの教育に関しても満足しています。子どもの人数が少ないからこそ、学年の壁なく皆で遊んだり勉強できていますし、村独自の教科支援員を各学年に配置していただいているおかげで、子どもたちの学力が

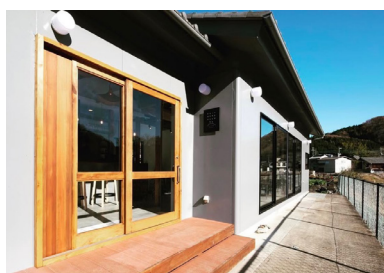
向上していると実感しています。ほかに、給食費の無料や、路線バスの定期券購入時の支援など、子育てをする私たちの生活を支えていただき感謝しています。

そして、日々の子育て環境においても、山に囲まれたのどかな場所で、自宅の前の川で遊び、庭でキャンプやBBQをしたり、畑で虫取りをしたり、のんびりとした時間を過ごすことができます。子どもたちがのびのびと、健康やかに成長できるところが村の良さだと思っています。たしかに子どもが少なくことで不安はありますが、子ども一人ひとりに子ども同士や大人が目を向け接することができると、自然と支援、人の優しさが感じられるので、村で子育てして良かったと思っています。



取材協力

ツキガワドライブイン



東秩父村の農産資源を活用したピザなどが楽しめるドッグラン併設型の古民家カフェです。

■東秩父村大字安戸 2058
☎ 81-6762



村で生まれた多くの子どもが小学校入学前に村から離れてしまっている

最新のデータでは、平成30年から令和6年に生まれた子ども全49人のうち、13人（約26%）の子どもが小学校入学前に村から転出してしまっています。

